

清重さん（高浦中） 教諭 第1席

瀬戸内海の環境保全を推進するポスターコンクール（環境省、瀬戸内海環境保全協会主催）で、石井町の高浦中学校教諭、清重郁子さん（58）＝石井町高川原＝の作品が第1席の最優秀賞に輝いた。



清重郁子さん

縦54センチ、横38センチで、テーマは「海から飛び出した様子を水彩絵の具で描いた。プラスチックごみなどによる海洋汚染。ペットボトルや漁網をくわえるタイ、ビニール袋をつかむタコなどが、渦潮の見える



瀬戸内海環境保全推進ポスターコンクールで第1席に選ばれた清重さんの作品（事務局提供）

海洋汚染の防止訴え

まう「ゴーストフィッシング」に遭ったりする問題を的確に表現したとして評価された。作品は6月から1年間、瀬戸内海沿岸13府県の自治体や企業などで掲示される。

清重さんは「海洋汚染は私たちの生活とつながっている。ポスターを見て考えを巡らせてほしい」と話した。

県関係では、小学生以下を対象にした子ども部門で神宅小学校5年の小谷優維さん（10）と、西麻植小学校6年の前田知輝君（11）の作品がそれぞれ第3席の佳作に選ばれた。

コンクールは1998年に始まり23回目。今回は中学生以上の一般部門に166点、子ども部門に82点の応募があり、両部門合わせて最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作7点が選ばれた。

（藤島慶祐）